

授業科目 (ナンバリング)	ホスピタリティ演習 I (N4A201)			担当教員	長岡 寛明・縄田 陽子・中島 健輔・ 藤田 英明・神田 紘介		
展開方法	演習	単位数	0.5 単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
「ホスピタリティ演習 I」は、「臨床体験学習」を主体としたヒューマンズム教育を行う科目である。1年次の「早期体験学習」をベースに、医療現場での体験学習を通じて、医療人としての心構えを学ぶと共に、学習へのモチベーション向上を目指す。							②⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	医療人の役割について体験し、自ら学ぶことができるようになる。				態度・プレゼンテーション・レポート	40%	
協働・課題解決力	チーム医療における他の医療職との連携・役割分担について関心を持てるようになる。				態度・プレゼンテーション・レポート	30%	
多様性理解力	チーム医療における他の医療職と薬剤師の役割の違いについて、体験し理解する。				態度・プレゼンテーション・レポート	30%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
「臨床体験学習」は原則参加することが必須であり、リハビリテーション病院での体験について、各グループで SGD を行い、プレゼンテーションを行う。事前学習・実習中の態度およびプレゼンテーション・レポートの内容を評価する。プレゼンテーション・レポート評価はポートフォリオ等でフィードバックする。プレゼンテーション・レポート評価の評価指標（ルーブリック）は別途配布する。							
授業の概要							
「臨床体験学習」は長崎市にあるリハビリテーション病院において、実際の医療現場を見学・体験する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。							
教科書・参考書							
教科書：配布プリント等 参考書：なし 指定図書：「薬学生 dead or alive ―薬学生, 成功への鍵は…」榎本秀一、安井裕之 編著（京都廣川書店）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
「臨床体験学習」は実際の医療現場を体験するため、薬剤師が他者（患者・医師・理学療法士など）とどのような関わりをするのかについて考えて欲しい。また、自分が将来どのような薬剤師になるのかについて、思いを馳せて欲しい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
1	臨床体験学習 1	事前学習 (神田・藤田)	配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。	47, 48, 51, 54
2	臨床体験学習 2	リハビリテーション病院で医療現場を体験する。 (神田・藤田) *終日 (5コマ)	配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。	47, 48, 51, 54
3	臨床体験学習 3	リハビリテーション病院での体験について、各グループで SGD を行い、プレゼンテーションの準備を行う。(藤田・神田・長岡・縄田・中島)	体験学習した内容について復習する。	
4	臨床体験学習 4	リハビリテーション病院での体験について、各グループでプレゼンテーションを行う。(藤田・神田・長岡・縄田・中島)	他のグループのプレゼンテーションの内容について復習する。	

注) 上記の第1回～第4回は、授業の概要を示したもので、講義の回数に変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照して下さい。